

臨床でありがちな迷信に、あなたは振り回されていないか？

歯周病学の 迷信と真実

その論文の解釈は正しいか？

著 関野 愉
小牧令二



57トピックス & 250超のレビューで、
臨床の真実がわかる！

診査・診断に関する迷信 7編 基本治療に関する迷信 13編 咬合と歯周病に関する迷信 6編
歯周外科手術に関する迷信 5編 再生療法に関する迷信 3編 角化歯肉の意義に関する迷信 3編
再評価、メンテナンス (SPT) に関する迷信 9編 他科と歯周病に関する迷信 2編
歯周炎患者への補綴に関する迷信 3編 インプラントに関する迷信 6編

クインテッセンス出版株式会社

●サイズ:A4判 ●152ページ ●定価:5,880円(本体5,600円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp



57トピックス & 250超のレビューで、 世界標準の臨床の真実がわかる！

CONTENTS

Chapter 1

診査・診断に関する迷信

- 迷信1 歯周病はエックス線写真で検査可能である
 - 迷信2 歯周病は細菌が原因なので細菌検査が必要である
 - 迷信3 唾液検査や血液検査は歯周病の検査に有効である
- ほか 合計迷信7編

Chapter 2

基本治療に関する迷信

- 迷信1 動機づけは位相差顕微鏡を使って最初に1回行えばよい
 - 迷信2 歯周病は薬で治る
 - 迷信3 基本治療において、歯肉縁下の治療が始まったらブラッシング指導はしなくてよい
- ほか 合計迷信13編

Chapter 3

咬合と歯周病に関する迷信

- 迷信1 ファセットは病的な咬合の徴候である
 - 迷信2 非作業側での咬合干渉により歯周病が進行する
 - 迷信3 垂直性骨吸収は咬合性外傷や食片圧入の症状である
- ほか 合計迷信6編

Chapter 4

歯周外科手術に関する迷信

- 迷信1 歯周外科手術時に肉芽組織は除去しなければならない
 - 迷信2 歯周外科の主目的は骨形態の修正である
 - 迷信3 ウイドマン改良フラップ手術は術後に歯肉クレーターができるので予後が悪い
- ほか合計迷信5編

Chapter 5

再生療法に関する迷信

- 迷信1 再生療法は骨縁下ポケットの治療の第一選択である
- 迷信2 GTR 法により根分岐部病変は治癒する
- 迷信3 Emdogain®とGTR 法を併用すると、それぞれ単独で行った場合より効果が高まる

Chapter 6

角化歯肉の意義に関する迷信

- 迷信1 付着歯肉がないと歯周病は進行しやすい
- 迷信2 角化歯肉幅が狭いと歯肉退縮が起きやすい
- 迷信3 歯肉弁根尖側移動術で付着歯肉を作ることにより、予後がよくなる

Chapter 7

再評価、メンテナンス(SPT)に関する迷信

- 迷信1 基本治療後の再評価の時期は、1~2か月後が適切である
 - 迷信2 メンテナンス時にBOP+ならば、必ず再治療が必要である
 - 迷信3 動揺が大きい歯は予後が悪い
- ほか合計迷信9編

Chapter 8

他科と歯周病に関する迷信

- 迷信1 歯周組織の安定のために、歯列不正は矯正したほうがよい
- 迷信2 無髄歯は歯周病を進行させる

Chapter 9

歯周炎患者への補綴に関する迷信

- 迷信1 クラウンのマージン位置は清潔域である歯肉縁下に設定すべきである
- 迷信2 Ante の法則に基づいてブリッジを設計しないと、歯周炎が進行しやすくなる
- 迷信3 歯根の3分の1以上骨吸収があると予後が悪い

Chapter 10

インプラントに関する迷信

- 迷信1 インプラント治療をする場合、歯周炎の歯は抜かなければならない
 - 迷信2 インプラントにはブローピングしてはいけない
 - 迷信3 インプラント周囲炎は進行しにくい
- ほか合計迷信6編

きりとり線

注文書

歯周病学の迷信と真実 その論文の解釈は正しいか？

冊注文します。

モリタ商品コード:805516

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	

支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送りさせていただきます。